


星と星座のひみつシリーズ

# 夏の星と星座

監修・写真

藤井 旭



夏の星と  
星座の動きが  
わかる

# 夏の<sup>なつ</sup>大<sup>だい</sup>三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>

ベガ

アルタイル

デネブ

夏の夜、東の空を見てください。

とりわけかがやいて見える3つの星は、「ベガ」「デネブ」「アルタイル」です。

この3つの星をつなげて「夏の<sup>なつ</sup>大<sup>だい</sup>三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>」とよびます。

とても見つけやすい星です。

# 夏の<sup>なつ</sup>大<sup>だい</sup>三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>をつくる<sup>せい</sup>星<sup>せい</sup>座<sup>ざ</sup>

ベガはこと座をつくる星のひとつです。

デネブははくちょう座、

アルタイルはわし座をつくっています。

この3つの星は「1等星」で、

とても明るい星です。

1等星は、全部で21個ありますが、

夏に見られる1等星は4個です。

こと座

(織女星)

ベガ

はくちょう座

デネブ

夏の<sup>なつ</sup>大<sup>だい</sup>三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>

(牽牛星)

アルタイル

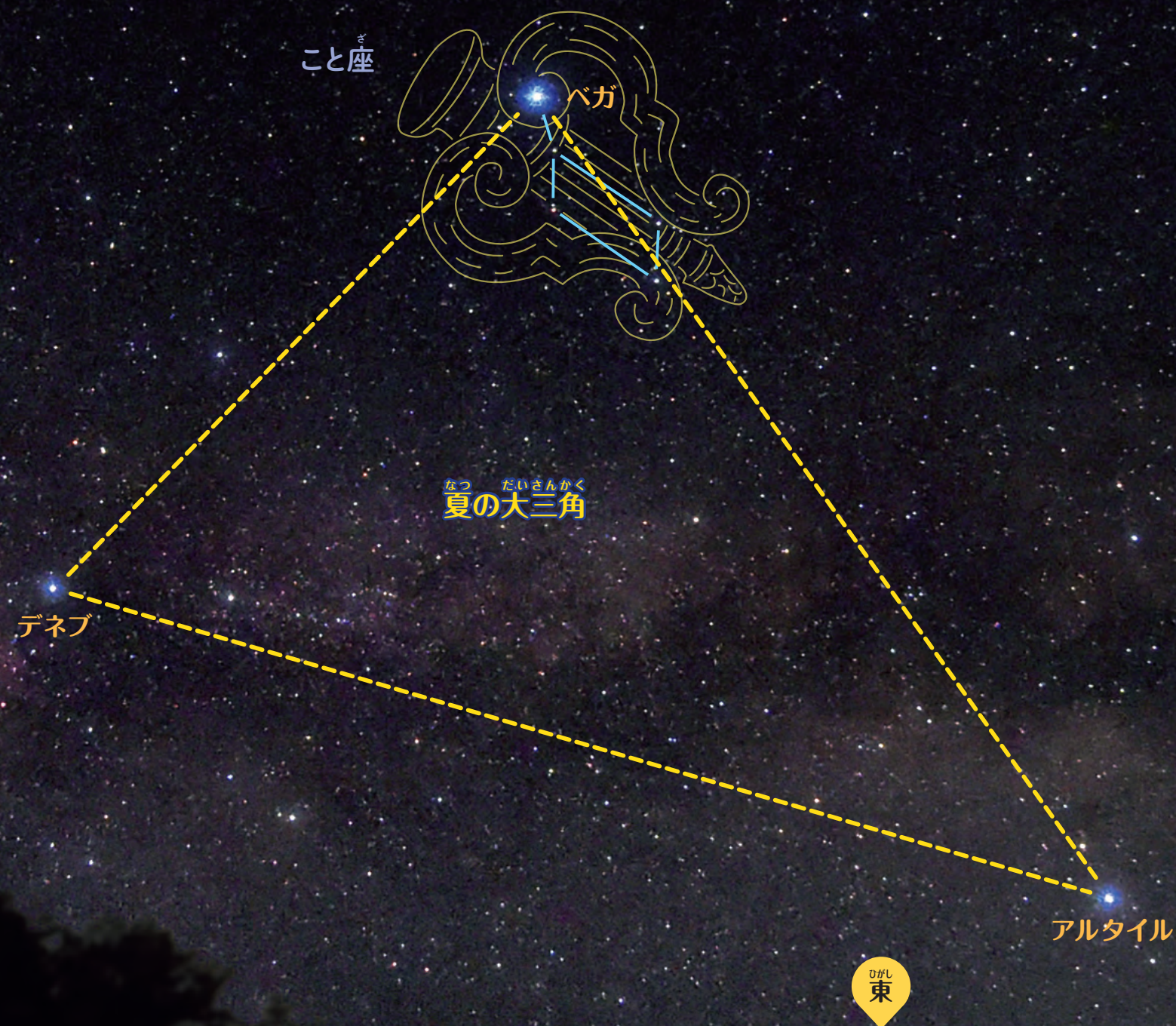
わし座

# 星座は動いている。 こと座を見よう

夏の<sup>なつ</sup>大<sup>だい</sup>三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>をつくる星<sup>ほし</sup>のひとつ、ベガがある「こと座」。

全部<sup>ぜんぶ</sup>で5つの星<sup>ほし</sup>で形<sup>かたち</sup>づくられています。

7月中旬<sup>がつちゅうじゅん</sup>なら、東<sup>ひがし</sup>の空<sup>そら</sup>に、見<sup>み</sup>つけられます。



## こと座と自分の位置



東<sup>ひがし</sup>を向<sup>む</sup>いて、ベガを<sup>め</sup>目<sup>め</sup>印<sup>いん</sup>に探<sup>さが</sup>すと、  
条件<sup>じょうけん</sup>がよければ、近<sup>ちか</sup>くに平<sup>へい</sup>行<sup>こう</sup>四<sup>し</sup>辺<sup>へん</sup>  
形<sup>けい</sup>が見<sup>み</sup>える。

# 3時間後、 少し 動いた



こと座に注目して3時間後、少し動きました。  
観察を始めたときよりも南の、上の方に見えます。  
こと座をつくる星の並び方は変わりませんが、  
かたむきが変わっています。

3時間後

アルタイル

南

こと座と自分の位置



観察を始めたときより、南に動いた。かたむきが変わった。

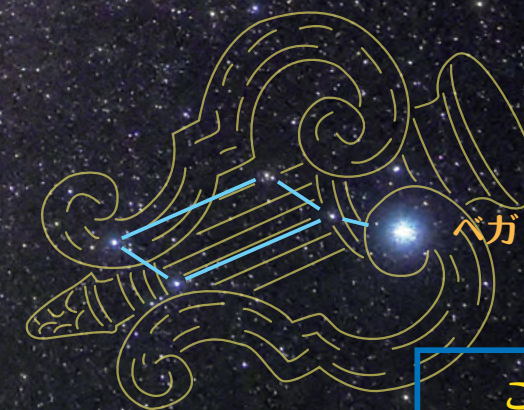
# さらに3時間後、また動いた

さらに3時間後、  
西側に動きました。

デネブ

3時間前よりも西の、下の方に見えます。

こと座をつくる星の並び方は変わりませんが、  
かたむきが変わっています。



こと座と自分の位置



さらに、西側に動いた。かたむきが変わった。

西